

下水道事業の経営状況

八千代市の下水道事業は、23年度以降、支出が収入を上回る、いわゆる赤字経営となっています。ここでは、赤字の主な原因と、市が行っている経営努力、今後の収支見通しなどをお知らせします。

汚水と雨水は別々に処理しています

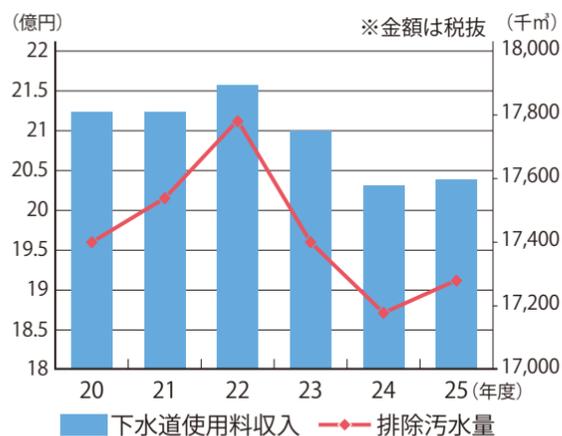
八千代市の下水道は、家庭や事業所などから排出される汚水と、降雨による雨水の処理を別々に行う分流式です。雨水の処理費用は、市の税金で賄っています。一方、汚水の処理費用は、原則として、下水道を使用している人が負担する下水道使用料で賄っています。

公共下水道事業は赤字経営です

公共下水道事業は、20年度から企業会計を採用し、独立採算制により運営しています。23年度以降、年間の管理運営に係る支出が収入を上回る、いわゆる赤字経営となっています。年間収支では、23年度に約2,600万円の欠損金（赤字）が生じ、24年度には約1億2,200万円、25年度は約1億6,500万円と、赤字は年々増えており大変厳しい状況です。主な原因は次の2つです。

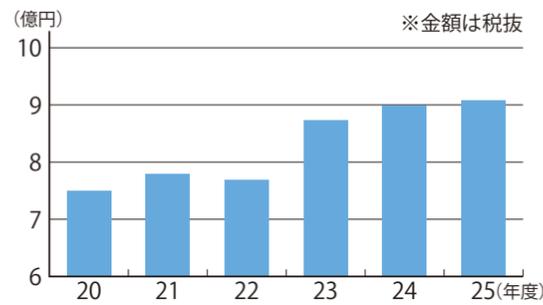
①下水道使用料収入の減少 節水意識が近年高まってきたことや、節水型機器などが普及したことにより、家庭や事業所から下水に流す量（排除汚水量）が急激に減っています。特に、23年度以降はその傾向が顕著になっています。

■下水道使用料収入と排除汚水量の推移



②印旛沼流域下水道の維持管理費の増大 下水道に流された汚水は、下水処理場（終末処理場）で浄化され、海や川に流されます。八千代市は独自の処理場を持っておらず、汚水は千葉県が管理する印旛沼流域下水道で処理しています。その施設の維持管理に関する費用を、印旛沼流域下水道維持管理費負担金として毎年負担していますが、老朽化や電気料金の値上げなどにより、23年度以降、その額は大幅に増大しています。

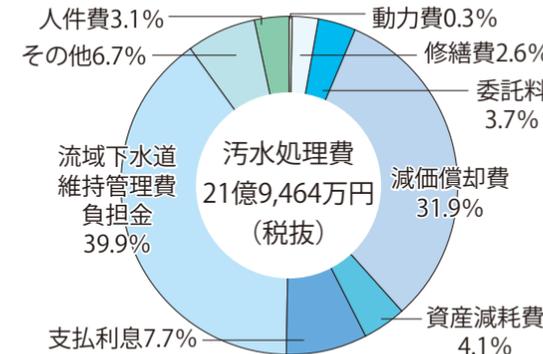
■印旛沼流域下水道維持管理費負担金の推移



下水道使用料の使い道

下水道使用料は、汚水処理に係る委託料や修繕費などの維持管理費や施設の減価償却費、過去に下水道管などを整備した際の企業債（借金）の利息の返済などに使われています。中でも、印旛沼流域下水道に支払う負担金は経費全体の約40%を占めています。

■汚水処理にかかる経費の割合 (25年度実績)



印旛沼流域下水道とは

流域下水道とは、行政区域にとらわれることなく、一つの河川・湖沼などの流域にある二つ以上の市町村の公共下水道から流れてくる下水を広域的に集めて終末処理場で浄化し、公共用水域に放流する大規模な下水道です。印旛沼流域下水道は、千葉県が管理し、県内の13市町などの生活排水や工場排水を千葉市美浜区の花見川終末処理場と、千葉市美浜区と習志野市にまたがる花見川第二終末処理場で処理しています。

大口需要者の獲得など様々な取り組みを行っています

経営の健全化を図るため、収入確保や支出削減などの経営努力をしています。

①大口需要者の獲得 料金収入の増加を図るため、工業団地などに下水道の普及を進め、大口需要者の獲得に努めています。また、下水道が整備されているにもかかわらず、接続していない世帯の解消にも努めています。

②人件費の抑制 水道事業との組織統合、職員の適正配置及び給与減額による職員人件費の抑制を図っています。

③高利率の企業債（借金）の繰上償還と借入の抑制 過去に借り入れた高利率の企業債について、22・23年度に繰上償還を行い、利息の軽減を図っています。また、新規の借入も抑制しています。

経営努力だけでは赤字の解消が難しい状況です

下水道使用料収入は、今後、横ばいで推移することが予想されます。また、印旛沼流域下水道への負担金の支出額は、さらなる増加が見込まれています。これにより、今後の財政収支見通しも、赤字の状態が続くこととなり、経営努力だけでは解消できない状況です。

使用者の皆様には、本市の下水道事業の経営状況をご理解いただき、事業経営の健全化にご協力いただきますよう、お願いいたします。

お問い合わせは
上下水道局経営企画課
☎483-6572へ

9月10日は下水道の日です

26年度下水道推進標語「げすいどう みずのみらいを まもるみち」

8月31日(日)に総合防災訓練を開催

「自助」「共助」の精神を基本に、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を育むことを目的に総合防災訓練を行います。

▼日時 8月31日(日)午前9時30分～正午。小雨決行。※シエイクアウト訓練は9時開始

▼場所 八千代総合運動公園多目的広場・市民体育館

▼内容 シエイクアウト訓練、避難所開設訓練、はしご車搭乗体験、自衛隊などの車両展示、消防音楽隊の演奏、スタンプリー（小学生以下）など

■シエイクアウト訓練（危険回避行動一斉訓練）にご参加ください。訓練開始の合図（やちよ情報メール・スマートフォンアプリ）で、地震から身を守るための基本的な行動を、参加者が今いる場所で一斉に行うシエイクアウト訓練を行います。詳しくは、市HPををご覧ください。（総合防災課）



「八千代インターナショナルデー」を9月7日(日)に開催

市内在住の外国人と市民の交流を図ります。世界各国出身者によるバンドやキーボードなどの舞台演奏、八千代高校校鼓組による和太鼓、市舞踊連盟による日本の踊りなどが行われます。

▼日時 9月7日(日)午後1時～5時

▼場所 フルルガーデン八千代

▼問い合わせ 八千代市国際交流協会事務局（市役所国際推進室内） ☎(752)0593（国際推進室）

募集 花と緑の写真コンクールの作品

市内の緑豊かな潤いと安らぎを感じる身近な生活空間を被写体とした「花と緑」をテーマとする作品を募集します。

▼募集期間 9月1日(月)～30日(火)

▼部門 ①一般の部（18歳以上） ②子どもの部（18歳未満） ③団体の部（団体・企業・グループ）

▼対象 市内在住または在勤・在学の個人・団体

▼応募規格 カラー2Lサイズ・単写真。加工処理は不可。1人1点まで。25～26年に撮影した未発表のもの

▼賞 最優秀賞・優秀賞・優良賞：各部門1点、審査員特別賞：各部門2点以内

▼賞品 デジタルカメラなど

▼応募方法 応募用紙に記入し、作品を貼って、〒276-1004 大和田新田584-1 環境緑化公社 ☎(458)6446へ郵送または直接お持ちください。応募用紙は同公社または市役所公園緑地課で配布しています。応募用紙は同公社ホームページからもダウンロードできます。応募作品は返却しません（公園緑地課）